

目標達成計画

事業所名 NPO法人 グループホームもみじ
 作成日: 平成 23 年 9 月 22 日

添削 2

目標達成計画は、評価結果をもとに事業所の現在レベルに合わせた目標水準を考えながら、次のステップへ向けて取り組んでいく目標を具体的に設定し、記入します。
 目標が一つも無かったり、逆に目標たくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の質向上を目指して優先して取り組む点を話し合います

【目標達成計画】					
優先 順番	項目 番号	現状における問題点・課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成 に要する 期間
1	18	本人と共に過ごし支えあう関係で入居当時は、少なくとも支援なく出来ていたことが、身体機能の低下も少なく認知症状も進展していない中すべての職員が過剰な支援を行い入居者の生活習慣と自主性が失われている	日常生活でその人が出来る事を、支援し生活に役立ていく	常に職員は、業務的に支援していくのではなく個々に可能な能力を低下させないために、時間に余裕を持ち出来る限り自立性を引きだいていき身体機能及び能力維持に努めていくことで、体調維持につながるようにしていく。	6 か月
2	49	日常的な外出支援について、希望にそった場所への計画を予定するが段差及び排泄場所等の条件に当てはまる場所がなく、本人の希望とは、違った場所への外出で、希望に沿った外出が出来方々は一部の入居者となっている。	身体機能に関わらず出来るだけ希望の場所へ外出出来る様に支援していく。	外出に対し地域の支援者及び家族へのご協力を踏まえて、希望に沿った場所へ外出出来る様に入居者の身体機能と同伴者「協力者」の心理的なことも考えて互いに負担の無い介助で外出支援を行い一名に対し2名以上の支援者で外出していくことで対応できなかったことが可能となり外出出来る領域が広がるようにしていく。	6 か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価のNoを記入してください。